

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

ごあいさつ



事務管理部 事務次長
渡嘉敷 博和

11月1日付で事務次長となりました渡嘉敷博和です。2022年2月までは沖縄協同病院リハビリ室で勤務しておりましたが、新とよみ生協病院建設に携わるためとよみ生協病院へ異動となりました。2024年2月にとよみ生協病院の完成後は生協本部にて人事総務看護担当をしておりました。

今回数年ぶりの沖縄協同病院での勤務でこれまでと違う業務を行うことに大変プレッシャーを感じておりますが、多くのスタッフと共に良い医療を提供できるようにしっかり頑張っていきたいと思っております。また、県連青年委員会も参加しており職種を越えた仲間づくりも目指しておりますので病院の業務以外でのお声かけもお待ちしております。不慣れな点もありますが何卒宜しくお願い致します。

◆◆ 2024年のできごと ◆◆

1月	・新年スタート、新春のつどい各地区で開催される
2月	・医師団会議 ・組合員活動交流集会
3月	・新入職員オリエンテーション開催
4月	・新年度スタート ・腫瘍内科外来開設
5月	・医療生協総代会議案書説明会
6月	・医療生協通常総代会 ・歯科口腔外科開設
7月	・土曜日の一般診療の閉診(救急診療体制のみへ) ・九州沖縄ブロック組合員交流研修会
8月	
9月	・組合員活動交流集会
10月	・まちかど健康チェック ・組合員つながり強化月間スタート(11月末まで)
11月	・大規模災害訓練
12月	・NAHAMARASON救護班派遣

年末年始外来休診のお知らせ

12月28日(土)より救急診療体制となり12月30日(月)～1月3日(金)は外来休診となります。また、1月5日(日)までは救急診療体制となるため、通常的外来診療は1月6日(月)からとなります。なお、当該期間の救急は終日、受付けております。

12/27 (金)	12/28 (土)	12/29 (日)	12/30 (月)	12/31 (火)	1/1 (水)	1/2 (木)	1/3 (金)	1/4 (土)	1/5 (日)	1/6 (月)
通常診療	救急診療	救急診療	年末年始のため外来休診(救急診療)					救急診療	救急診療	通常診療

病院の活動状況
＜2024年10月度＞

- ・外来一日平均患者数：302人 (前年同月比 -12%)
- ・入院一日平均患者数：263人 (前年同月比 +10%)
- ・組合員利用分量(率)：54.1% (前年同月比 -2.3%)

風邪

214 感染症内科より



今回、「風邪」をテーマにお話させて頂きます。風邪は、「のど(咽頭痛、嚥下痛)」、「はな(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)」、「せき(咳、痰)」の3症状が、同時に同程度存在する病態です。原因のほとんどがウイルスのため、「抗菌薬(「ばい菌」を殺すお薬)」は無効です。新型コロナウイルス(以下「コロナ」)やインフルエンザ(以下「インフル」)など特定のウイルスが原因である場合を除き、基本的には自然治癒するのを待ちつつ、適宜、解熱薬や咳止めなどの対症療法を行います。風邪の場合でも、最初の数日間発熱する事があり、症状のみで「コロナ」や「インフル」と区別する事は難しいです。市販の抗原検査キットもある程度は有用ですので、適宜ご利用下さい。

「コロナ」や「インフル」の場合で、特に重症化リスクの高い方(高齢者、糖尿病、肺炎腫・喘息、腎不全、癌などの持病のある方、妊娠中の方)では治療薬の適応がある場合もございますので、医療機関への受診をご考慮下さい。ただし、妊婦では、治療薬は「インフル」のみ また、以下のような場合には、細菌感染症の可能性も疑われます。

- ①発熱が3日以上続く場合
- ②咳や痰症状が目立ち息苦しさや喘鳴(ぜえぜえ、ヒューヒュー)がある場合
- ③のどの症状が強く唾液さえも全く飲み込めない、口が開けられない、息苦しい場合
- ④解熱・鎮痛薬を使用しても頭痛や吐き気が治まらない、意識がぼーっとしている場合、など

また、14日間以上も咳が長引く場合には、慢性の呼吸器疾患の可能性もございます。その他に風邪と似たような症状の出るものとして、梅毒、急性HIV感染症等の性行為感染症がございます。何かしら心当たりがある場合には、一度検査を受けられる事をお勧めいたします。

最後に「風邪」の予防に関してですが、コロナ禍で培われた手洗い、マスク着用、咳エチケット、うがいの習慣が、そのまま活かされます。これから次第に寒い季節になって参りますが、組合員の皆様におかれましても、お体の方、ごっかご自愛下さい。

内科(感染症) 與那覇ルカ

2024年度 九州・沖縄地方協議会看護師長研修会in沖縄

11/8(金)・9(土)【2024年度九州・沖縄地方協議会看護師長研修会IN沖縄】が開催されました。

コロナ禍を経て5年ぶりの対面式での研修で、71名の参加がありました。【命輝く未来へ～民医連職員としての絆を深め果たす役割を考えよう】をテーマに研修はスタートしました。

1日目はフィールドワークとして平和ガイドの説明のもとに南部戦跡を巡り、フィールドワークの後は沖縄女性研究家宮城晴美氏による「沖縄女性の終わらない戦争～今なお続く戦時暴力」と題した講演会を拝聴しました。

戦時暴力の悲惨さを痛感し、民医連が行っている社保・平和活動の意義を改めて確認できた場となりました。

講演会終了後の夕食交流会では、各県連の「ご当地クイズ」や、「対抗椅子取りゲーム」。また、沖縄民医連職員が沖縄民謡やエイサーを披露してくださり、最後は全員でカチャーシーを踊り笑顔あふれる交流会となりました。

2日目は各県連指定報告とグループワークを行い、管理者としての課題を共有しながら、看護師としてのやりがいを見い出せる職場作りについて皆で話し合いました。当初は長いと思われたディスカッションの時間も、最後は時間が惜しまれる程に活発な意見が飛び交い、とても有意義な研修となりました。久しぶりの対面式研修で準備がうまく出来なかった部分もありましたが、各県連の委員会メンバー・現地実行委員会メンバー、他沢山の協力で成功できたと思っています。

今回の研修で得られた貴重な学びを活かしながら、今後も管理者としての果たす役割をしっかり追求していきたいと思っています。



8階病棟 師長 潮平 美奈子



<ご意見>

病院食に沖縄食材を多く取り入れたらどうですか？

(モズク、アーサなどの季節もの)

<ご回答>

ご意見ありがとうございます。日頃県産食材を取り入れるよう配慮しておりますが、当院は2日前に調理したメニューを当日温めて配食するクックチル方式を採用しているため適さない食材もあります。昆布海藻類は問題ないのですが、麺類は適さないため沖縄そば以外は採用できないのが現状です。また、病状に応じたメニュー(塩分・カリウム制限など)や調理方法などが適さない場合もあり、ご理解いただきたいと思ひます。今後も県産食材を使って美味しい食事を提供できるよう努力して参ります。

栄養管理室 室長代行 松田 優子

こんにちは赤ちゃん

10月生まれ

当院で出生したBabyの写真です



伊禮嘉凰ちゃん



屋比久叶笑ちゃん



高山碧彩ちゃん

Instagramやってます

@okikyo.sanka



私の部署のいいところ

8階病棟

8階病棟は、整形外科・呼吸器内科・泌尿器科を主とした混合病棟です。手術前・手術後の管理、社会復帰に向けて、日常生活動作の拡大や自立への援助を医師・看護師・リハビリ療法士・ソーシャルワーカー等、スタッフが連携してチーム医療を行っています。

また、呼吸器内科では睡眠時無呼吸症候群の検査も行っています。

急な病気やケガで日常生活が一変し、入院生活は不安も大きいかと思います。おひとりおひとりが安心して治療に挑み、生活に復帰できるよう、入院された患者さんとご家族に寄り添った看護を心がけていきます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



8階病棟 副主任 宮城 綾子

委員会活動報告31:ホームページ委員会

ホームページ委員会では当院のホームページを管理しています。不定期に委員会を開催し、ホームページの内容を精査しています。患者さんや地域の皆さん、医療機関や医療関係事業者、求職者など、さまざまな方が必要な情報にすぐアクセスできるように、わかりやすくシンプルなページ構成を工夫しています。また、医療サービスの変更や休診などの情報更新や、病院広報誌「はいさい」の掲載を行っています。

当院が地域から信頼され、利用しやすい病院になるために、改善を継続していきます。

事務局長(医療情報分析室 主任) 佐事 尚道



地球の平均気温が1℃上昇すると国内の猛暑日は1.8倍になり、2℃前後上昇すると気候変動は止められないという。この重要な時期に大国のアメリカでは「温暖化を信じない」大統領が誕生した。白を黒で押し通せば地球の未来は真っ黒だ。

ハルサー 金城 稲子

今年のトマト栽培は苦戦の連続だ。今年はカスミカメ(クレオメに住むトマトの害虫を退治する虫)という助人を導入したが、それを過信して害虫の駆除を怠ったのが間違いだった。今までは私の身長ほどに成長した株は抵抗力がついて病気に罹りにくかったが、今年は2mほどになっても隣から隣へ感染している。1500本の内300本以上が感染した。病気株は諦めるしかない。今年は10月後半まで高温が続いたため害虫が大繁殖し、駆除しても耐性が付いて生き残るのが多くなっているのだ。トマトは高温にさらされると花が咲かない、咲いても落花する、落花を免れても裂果が待っている。全国的な夏の高温が記録的な高値になっているのだ。12月には落ち着くとテレビでは言っているが私の畑は黄色い花が見えない。

私のハルサー日誌によると今年10月の最高気温の平均は去年より3度高く、11月は最低気温が2度高い。トマトには大きなストレスだ。ハウスに冷房は非現実的だし、高温に強い品種の開発を待つしかない。



温暖化

先日スーパーに行ったらトマトが1個258円、キャベツが1個500円、キュウリが2本300円だった。夏の猛暑を考えるとハルサーには驚く値段ではない。この数年値上げラッシュが続いているが、野菜は気候変動に大きく左右されるので天井がない状態だ。例年今の時期のトマトは1個150円前後で、年を越すと県産品が出て100円に落ち着くのだが今年期は読めない。